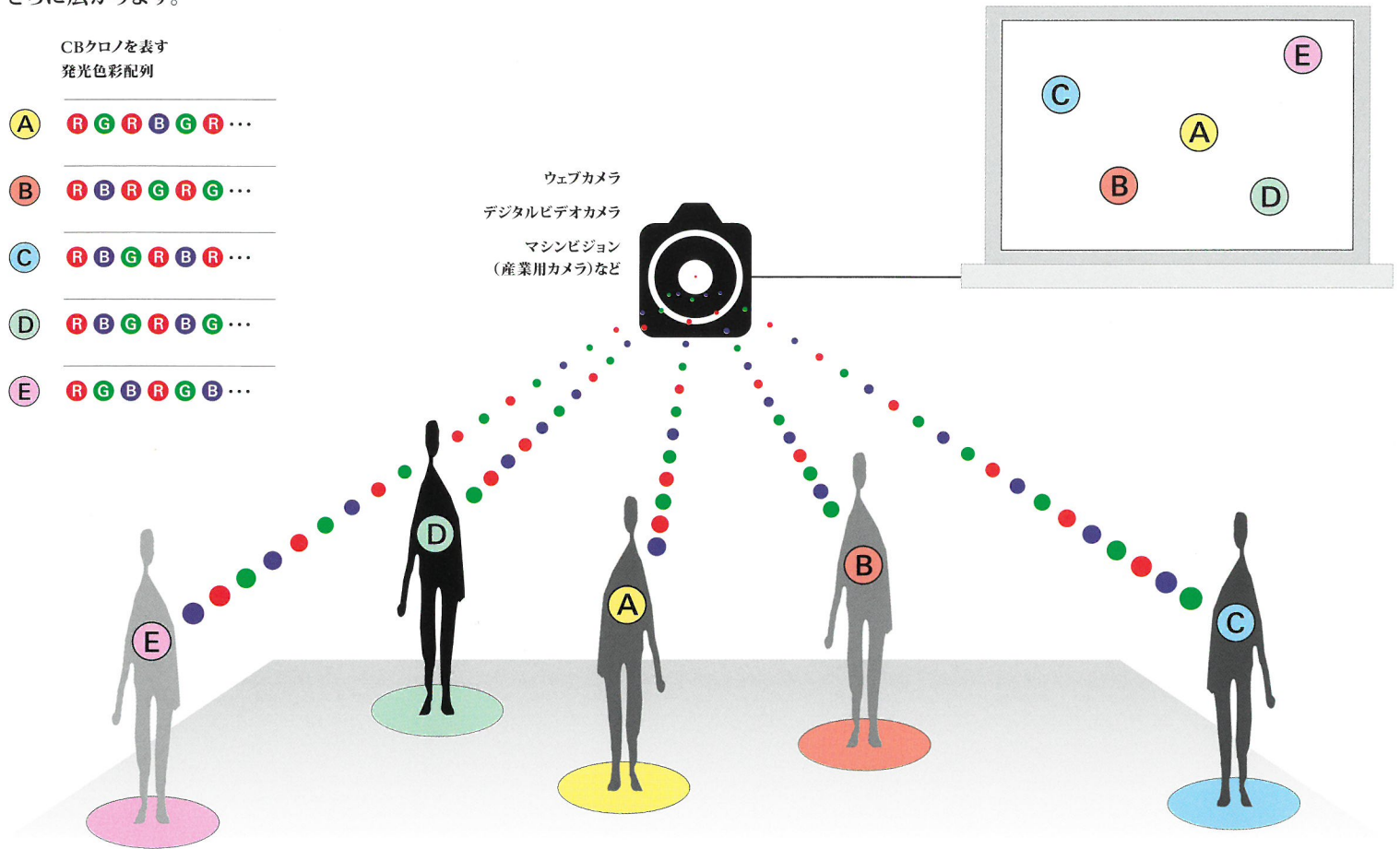


カラービット®を点滅させると CBクロノになる

3色の色の連続的変化を読み取るカラービット®の原理を発光体に応用したらどうなるだろう？ そんな着想からCBクロノの開発はスタートしました。色の点滅を時系列で追いかければ、ある一定時間の点滅パターンでIDを表現できるはずだというアイデアを、実用レベルの技術にまでブラッシュアップしました。真っ暗な場所や薄暗い場所など、照明条件が劣悪な環境でも確実な読み取りが可能です。また、より遠方・より早い動きの物体の追尾など、自ら発光するアクティブタグを使用するメリットはたくさんあります。CBクロノの登場により、自動認識の可能性はさらに広がります。



特徴

IDと位置の同時検出

素早い動きに対して追尾可能

複数同時認識可能

背景ノイズの多い条件下でも認識可能

像のボケやブレに強い

遠方物体の認識可能

簡単なシステム構成

通信補助手段としても活用可能

工場や倉庫内の人物追跡とID管理

大規模な建築空間内、特に大型の工場や物流倉庫内の作業員に個別のIDを付けて行動を把握したいというニーズへの強力なソリューションとなります。作業員が身につけるヘルメットや帽子などにCBクロノを取り付け、施設内を見渡せる場所に取り付けたカメラで管理をすることにより、作業員のIDを把握したり動線をトラッキングすることが可能です。人間だけでなく、倉庫内のフォークリフトなどの移動体のID管理やトラッキングにも適した自動認識技術です。

デジタルサイネージへの応用

CBクロノまでの距離がかなり離れていても、光が届き、色の認識ができれば読み取りが可能です。例えば、屋外の大型のデジタルサイネージ(渋谷や新宿のビルに設置されているような)や巨大スクリーンにCBクロノを付加し、道行く歩行者が携帯電話のカメラでそれを読み取ることによって、プロモーションサイトへの誘導やクーポン券の発行等の情報発信にも活用できます。